

図書館からひとこと

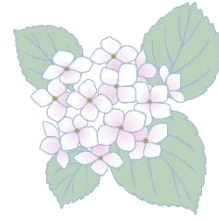
今年度の「図書館だより」第1号です。

梅雨にはいりましたね。

雨の日には雨音を聞きながら本を読むのもいいですよ。

図書館前に、新着図書のリストを掲示します。

図書館に本を借りにきてください！

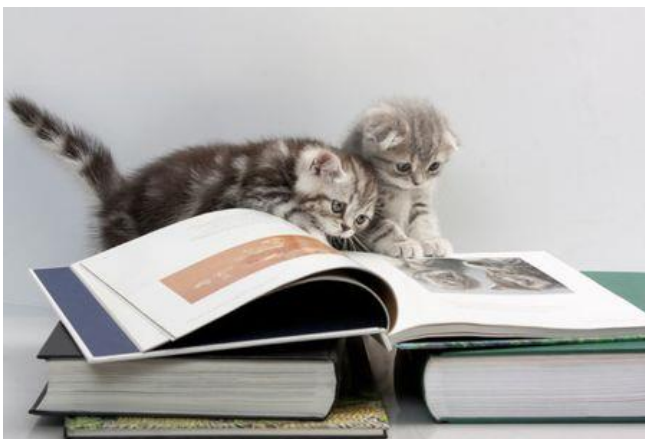


図書委員のお薦め本

『ねこもかぞく』 堀本裕樹・ねこまき作
さくら舎

「この本は「ほんのり俳句コミック」というキャッチコピーがあり、本のタイトルとキャッチコピー通り、俳句と猫のマンガを合わせたもので、右のページが、俳句とその句の物語で、左のページが句と猫を表した漫画となっており、本をよく読む人はもちろん、普段本を読まない人や、本を読むのが苦手な人にもおすすめです。何より、選択受業で「創作」を取った人は是非、参考本として読んでみてください。この本には、なんと 88 句もあり、面白い系の句や、感動系などの様々なジャンルの句があります。

ちなみに私は 94 ページの句に1番興味を持ちました。この文を読んで興味がある方、創作の予習を考えている方は、是非、図書館へどうぞ。



図書館のお薦め本

『ナカスイ！ 海なし県の水産高校』
村崎なぎこ作 祥伝社

舞台は海がなくても川がある栃木県的那珂川水産高等学校(略して「ナカイ」)。「今の自分からぬけ出したい」と願う鈴木さくらは、魚にくわしいわけでもないのに「ナカスイ」に入学。ところが女生徒はさくら以外二人だけ。「女の子同士仲よくしたい」と思っても、なかなか親しくなれません。しかもまわりはみなユニークなキャラクターばかり。「頭の中で鮎を養殖している」といわれるほど鮎が好きな先生。いつも中学模試で県内1位だった秀才。片道2時間かかるのに「エモい」という理由で「ナカスイ」に入学した変人。「こんな平凡な私なんて、ナカスイじゃ目立つどころか水没するだけ！」とおちこむさくらですが、やがて友だちができます。そして協力して「ご当地おいしい！ 甲子園」をめざします。

青春ドラマが好きな人や
魚料理が好きな人
にお薦め！

